

PFOA・PFOS等を含む有機フッ素化合物（PFAS）の評価・規制動向

講師：関沢 舞氏

一般財団法人 化学物質評価研究機構（CERI）
安全性評価技術研究所 評価事業部 評価第二課

近年、欧米を中心にPFASの規制強化の動きが急速に進んでいます。日本でも2021年4月にPFOAとその塩が化学物質審査規制法（化審法）の第一種特定化学物質に指定されました。

欧米におけるPFAS規制の流れはこの先も続く可能性が高く、これらの規制動向を把握することは、危機管理としても重要です。

本セミナーでは、欧米を中心としたPFAS規制動向について解説するとともに、なぜPFASが規制対象物質となるのか、規制の根拠となった残留性、生物蓄積性、有害性等の評価内容についても分かりやすく解説します。

また、PFASを含む残留性有機化合物（POPs）の評価・規制動向についても紹介します。

【講師経歴】2002年4月、(一財)化学物質評価研究機構に入構。これまで、NEDOプロジェクト化学物質のリスク評価及びリスク評価手法の開発での有害性評価書の作成、OECD SDIS 文書の作成業務（2003年及び2006年にOECD SIAM会議に出席）、Japan チャレンジプログラム支援業務、化学物質規制等に関する調査・研究、コンサルティング業務、GHS分類、有害性・リスク評価業務等に従事。

【雑誌】・月間化学物質管理 2021年2月号「PFOA・PFOS等、有機フッ素化合物における日米欧の規制動向」

開催日時	2021年10月6日（水）13：30～16：30	※本セミナーは、 当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。
受講料	44,000円（税込） ※ 資料付 * メルマガ登録者 39,600円（税込） * アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。★【参加対象者】・法規制対応、化学物質管理ご担当者など★【得られる知識】・欧米におけるPFAS規制動向の最新情報・規制根拠となった評価内容についての基礎知識・POPsの評価・規制動向の最新情報

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 主な有機フッ素化合物（PFAS）の基本情報
2. 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（POPs条約）
 - 2.1 POPs条約の概要
 - 2.2 POPs条約におけるPFASの動向
 - 2.3 POPs条約におけるその他の産業化学物質の動向
3. 欧州REACH規則と欧州POPs規則におけるPFASの評価・規制動向
 - 3.1 PFOAとその塩及びPFOA関連物質
 - 3.2 PFOSとその塩及びPFOS関連物質
 - 3.3 長鎖（C9-C14）のPFCA
 - 3.3 PFHxSとその塩及びPFHxS関連物質
 - 3.4 PFHxAとその塩及びPFHxA関連物質
 - 3.5 PFBSとその塩
 - 3.6 5カ国によるPFASグループ制限提案
 - 3.7 泡消火剤でのPFAS使用制限提案
 - 3.8 代替品（GenX、ADONA）の評価・規制動向
4. 欧州における持続可能性のための化学物質戦略
 - 4.1 概要
 - 4.2 PFAS規制のための必須用途概念の導入
5. 米国PFASアクションプラン
 - 5.1 PFASアクションプランの概要
 - 5.2 PFASに関連するTSCAの重要新規利用規則（SNUR）
 - 5.3 飲料水中PFASを規制する規則
 - 5.4 PFASの毒性情報の拡充
6. カナダにおけるPFASの規制・評価動向
 - 6.1 概要
 - 6.2 長鎖（C9-C20）のPFCA
 - 6.3 PFOAとその塩及び前駆体
 - 6.4 PFOS
7. 日本におけるPFASの規制・評価動向
 - 7.1 PFOS
 - 7.2 PFOAとその塩及びPFOA関連物質
8. まとめ

弊社記入欄		ウェビナー申込書			
セミナー名		PFOA・PFOS等を含む有機フッ素化合物（PFAS）の評価・規制動向			
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合はQ↓		会社名（団体名）	TEL：		
会員登録済み		住所 〒	FAX：		
新規登録希望		部署	役職	E-mail：	
お支払方法		銀行振込 ・ その他		お支払予定	2021年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上FAXまたはE-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込FAX番号
03-3291-5789

2021年10月6日（水）開催

PFOA・PFOS等を含む有機フッ素化合物（PFAS）の評価・規制動向

講師：関沢 舞氏

一般財団法人 化学物質評価研究機構（CERI）

安全性評価技術研究所 評価事業部 評価第二課

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声 that 乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一一部外者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。